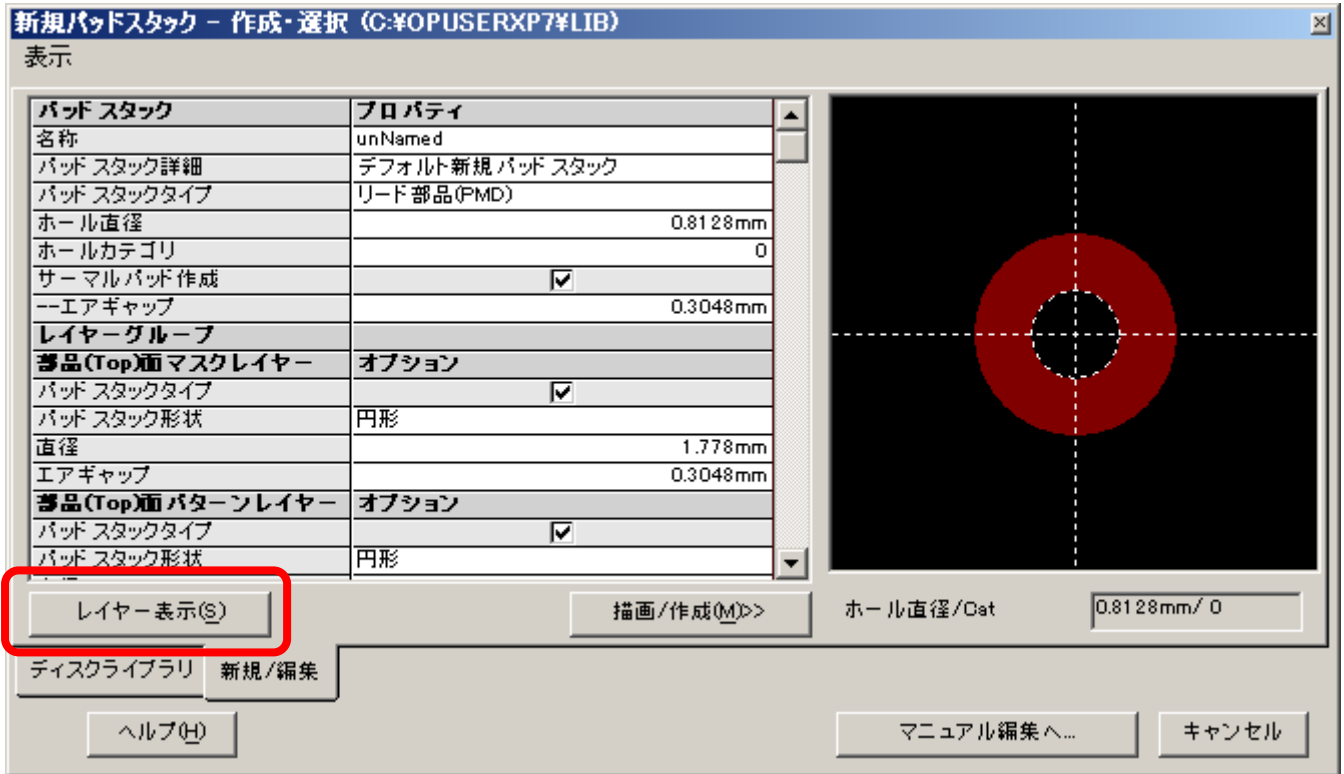


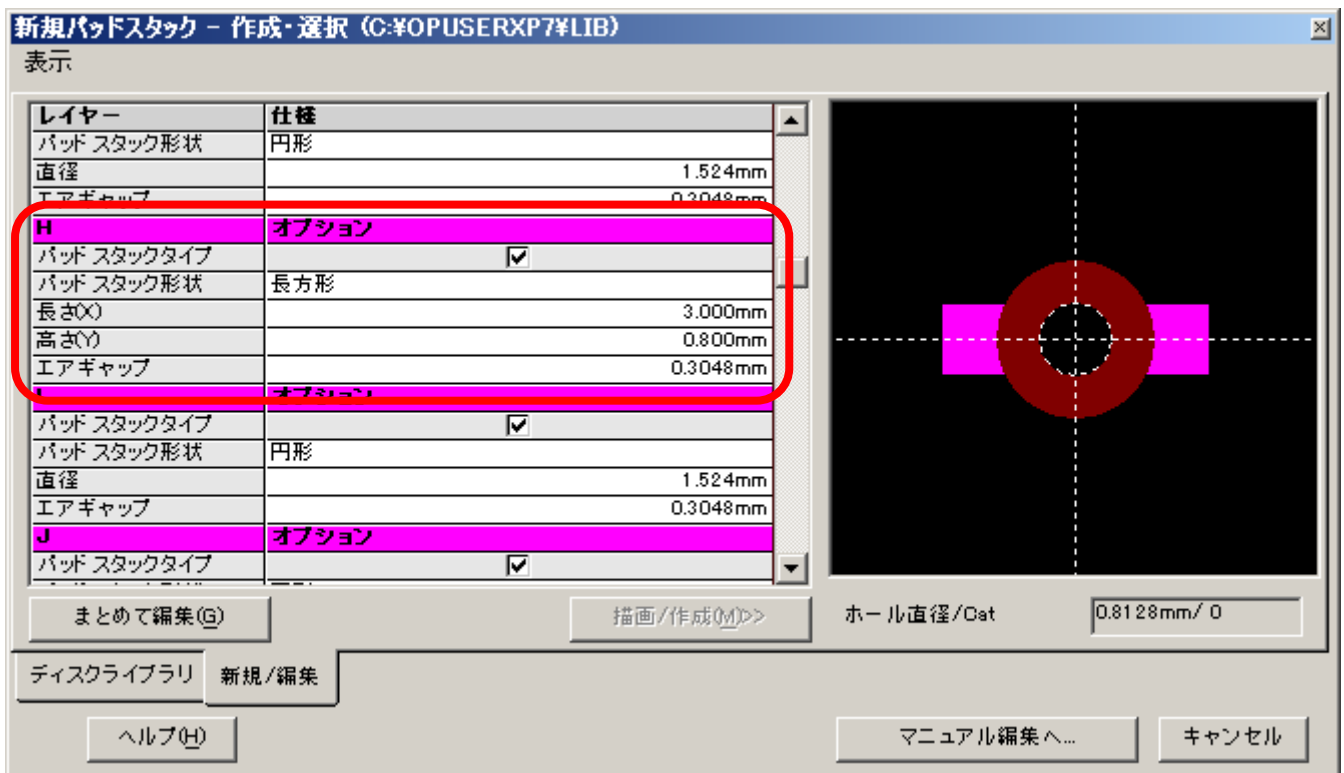
I. LIB_角穴、長穴

OPUSER では“角穴、長穴”を、丸穴と同じ状態では、パッドスタックへ登録する事が出来ません。いずれかの内層レイヤーを角、長穴用の階層とし、レイヤーを使用して穴の形状を描画させます。

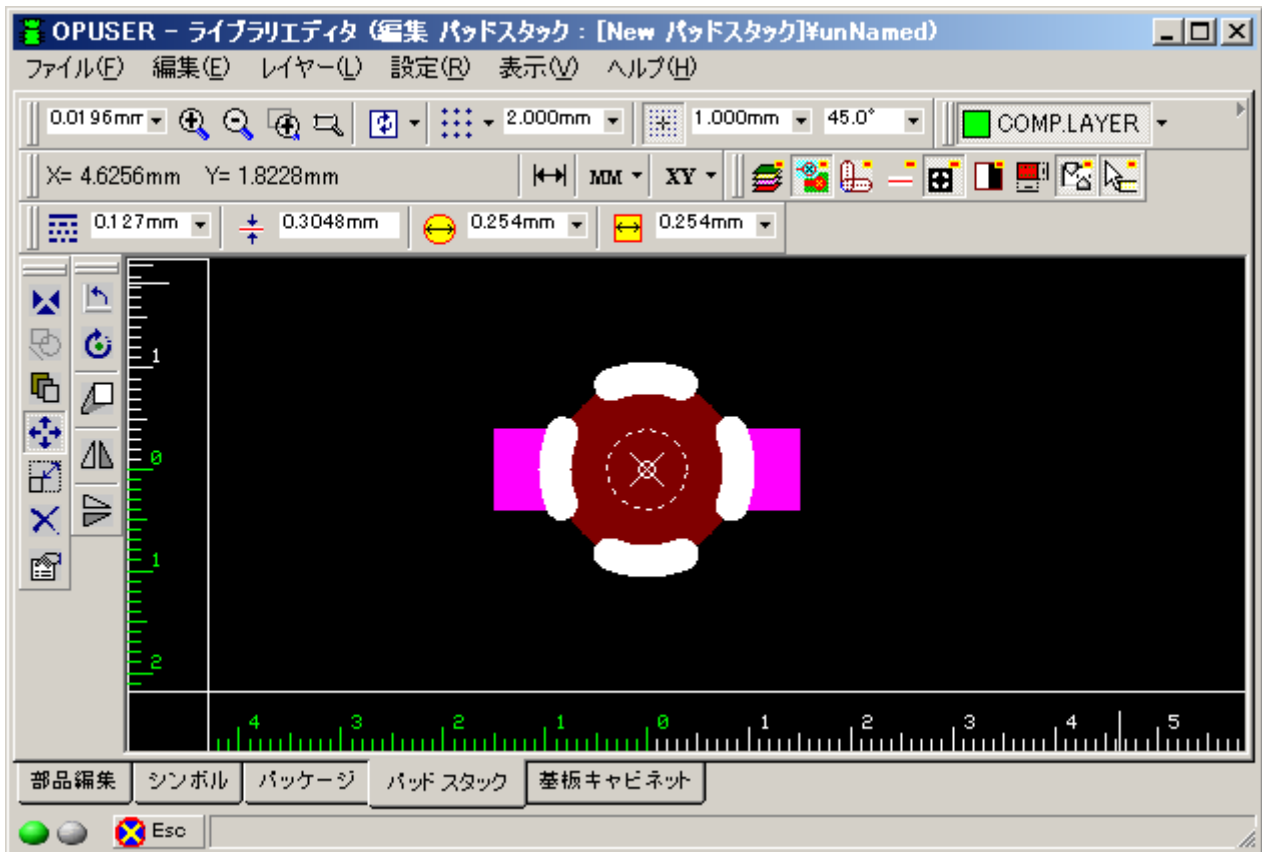
『レイヤー表示』をクリック



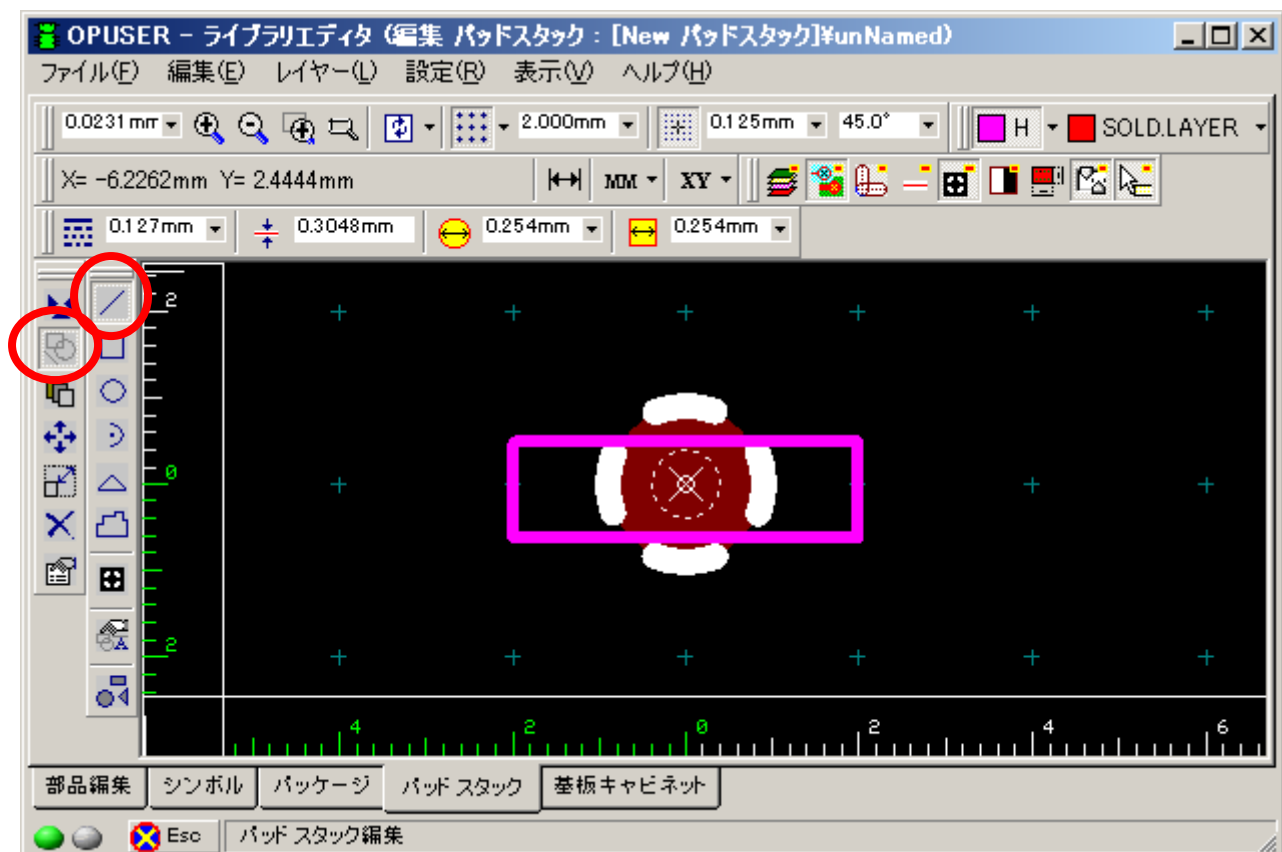
パッドスタックの作成手順は同じですが、任意のレイヤー（下図では H）に、ホールとする目的の角、長穴の図形を作成します。



ライブラリに保存、これを使用して部品を作成し保存します。(下図では判りやすいよう長穴となる階層を飛び出した状態で作成しています)



または線分を使用して、長穴の輪郭線を描画します。その際、『長方形の作成、ポリゴンの作成』は使用しないで下さい。出力時に、塗りつぶした図形として出力されます。



後ガーバーデータは出力の際に、角、長穴を作成した階層を出力します。その際、他パッドスタックに登録されているパッドも出力されるので、アパーチャ、もしくは長穴のサイズをメモ帳などで基板製作者へ指示します。メモ、ノート等で加工指示が難しい場合は、他パッドスタック（長穴を持たない）の該当する内層レイヤーを削除して下さい。

